

平成28年度千葉県小児がんピアサポーター養成研修会報告

1 目的

小児がんは長期にわたって日常生活や就学・就労に支障をきたすことがあるため、患者の教育や自立、患者を支える家族に向けた長期的な支援や配慮が必要とされる。

県で実施した患者実態調査において、家族や受療医療機関関係者を除き、入院中の不安や悩み等の相談相手として、最も多かったのは、同じ病院の患者・家族仲間であった。

このことから、仲間による支援（ピアサポート）は闘病中の患者家族の大きな支えとなる。

そこで、ピアサポーターとして、闘病中の患者や家族の支援活動に参加できる人材の発掘と育成を目的とし、本研修会を実施した。

2 対象者

小児がん経験者（本人）及びその家族（遺族含む）、きょうだいで、ピアサポーターとしての支援活動に関心のある者

3 開催日時・内容等

	<第1日目> 平成29年3月13日(月)	<第2日目> 平成29年3月23日(木)
参加人数	16名	14名
内容 研修① 13:35～15:45	テーマ 「活動するための心構えと基本的姿勢—傾聴—」 講師：寶川由美子氏（臨床心理士）	テーマ 「活動するために知っておきたい医学的知識」 講師：沖本由理氏（医師）
研修② 15:55～16:25	テーマ 「ピアサポート活動をするうえで心がけていること」 講師：井上富美子氏 (認定NPO法人MCCF理事長)	テーマ 「ピアサポーターとして医療知識が必要な理由とその使い方」 講師：井上富美子氏 (認定NPO法人MCCF理事長)

4 会場 Qiball(きぼーる) 15階 多目的室 千葉市中央区中央4-5-1

5 募集方法 千葉県内で活動している小児がん患者と家族の会を通じて募集

6 アンケート結果 1日目(別紙1)、2日目(別紙2)

平成28年度千葉県小児がんピアサポーター養成研修会 実施後アンケート結果

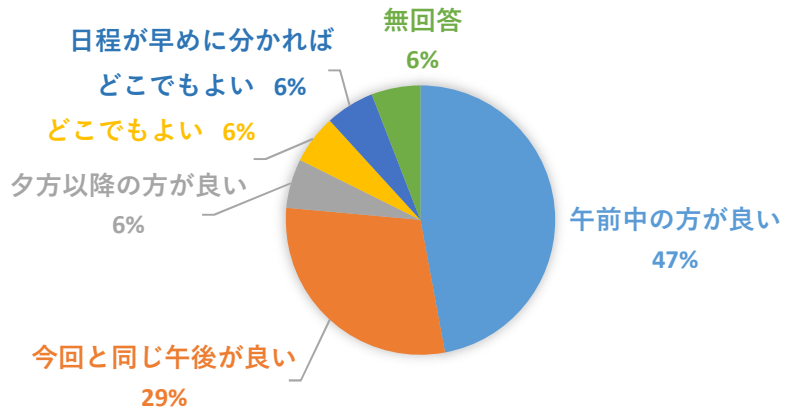
【1日目】 H29.3.13 (13:30~16:30)開催

出席者 16名 (母15名・父1名) アンケート回収数15 (回収率 93.4%)

1 研修会の開催日程について

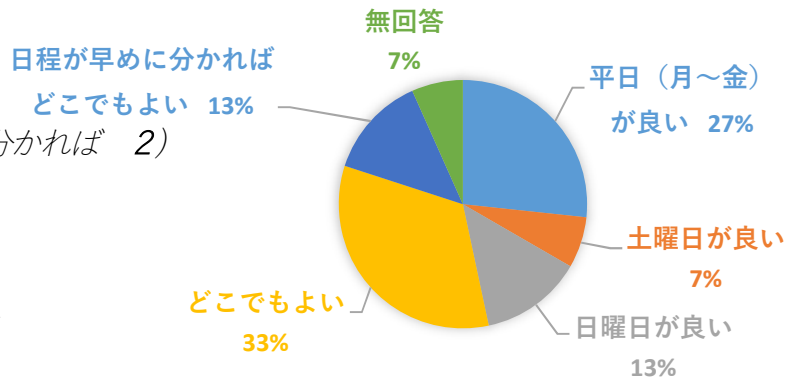
○時間帯(複数回答あり)

- 午前中の方が良い 8
- 今回と同じ午後が良い 5
- 夕方以降の方が良い 1
- どこでもよい 2
(うち日程が早めに分かれば 1)
- 無回答 1



○曜日(複数回答あり)

- 平日 (月~金) が良い 4
- 土曜日が良い 1
- 日曜日が良い 2
- どこでもよい 7
(うち日程が早めに分かれば 2)
- 無回答 1



○時期

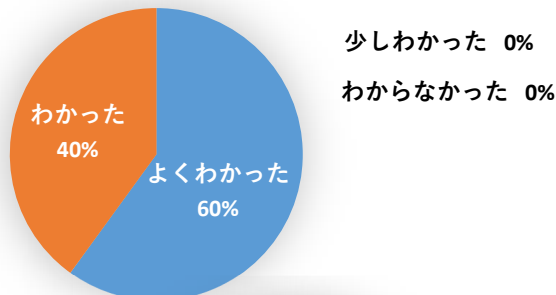
- () 月頃が良い 1
(春か秋 1)
- いつでもよい 11
(うち日程が早めに分かれば 1)
- 無回答 3

2 1日目の研修内容について

研修① 「活動するための心構えと基本的姿勢—心に寄り添うとは—」について

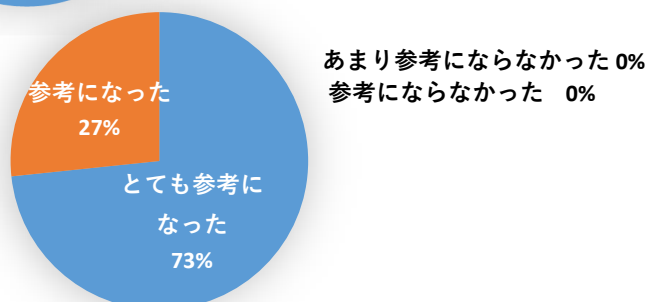
○内容理解

- よくわかった 9
- わかった 6
- 少しわかった 0
- わからなかった 0



○今後の参考になったか

- とても参考になった 11
- 参考になった 4
- あまり参考にならなかった 0
- 参考にならなかった 0



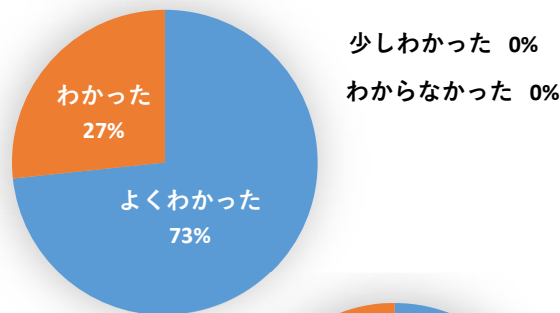
○感想

- もう少し詳しく掘り下げた話もうかがいたいと思いました。
- 人の思いの違い、イメージの違いを前提として話を伺う姿勢、わかろうとする姿勢が大事。
- ワークなども含まれていて具体的に寄り添う(相手の気持ちを知る)ということが理解できました。
- 人と人との関わりが言葉1つのとらえ方で違いがあるのだなと、とても参考になりました。サポーターとしての心構えが漠然としてしか分からなかったのが明確にできた。
- とても楽しく気づかされることがたくさんありました。
- いろいろな人と話すことで心がとけていきますね。
- 話を聴く姿勢の大切さがわかりました。ただそれらを実践したうえでサポートしていくのは難しいことだと感じました。
- その人の思いにはせる、寄り添うということが大事だということはわかりましたが、とても難しいことだと思いました。果たして自分ができるか…、まずは家での実践を心がけてみようと思います。
- 分かろうとする姿勢の考えはとても身になりました。自分の聞く姿勢が相手にどう影響するのか、考えさせられました。
- 人の話を聞く、間をとる方法をうまくなりたいと思う。
- ワークもあつたりと楽しみながら学びました。
- 活動という場だけでなく日常にも応用したいと思います。

研修② 「ピアサポート活動をするうえで心がけていること」について

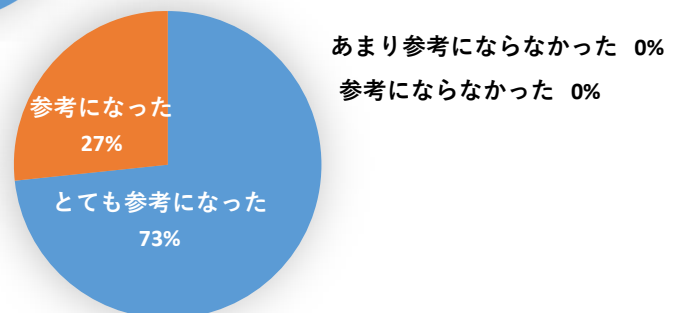
○内容理解

よくわかった 11
わかった 4
少しわかった 0
わからなかった 0



○今後の参考になったか

とても参考になった 11
参考になった 4
あまり参考にならなかった 0
参考にならなかった 0



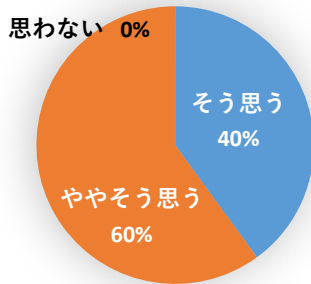
○感想

- 井上さん母とお話しをする機会はそんなに多くないので、貴重な機会でした。スタッフの意識のすり合わせはとても大切だと思いました。
- 不安の整理の仕方、解決の仕方、ストレスをためない切りかえの仕方が参考になった。
- 井上さんの活動にはいつも頭が下がります。“井上さんがいてくれる”と言うだけで安心につながっています。
- サポートをするうえで、大切な事を具体的に話して頂いてとてもわかりやすかった。
- 自分も窓を開け、サポートできるようになりたいと思いました。
- 自分で役に立つことがあれば力になりたい。
- 井上さんの存在はとても心強いです。これからもよろしくお願いします。

- ・話を聞いてくれる人がいるというだけで、気持ちも違ってくるんだなとわかりました。
- ・サポートするにあたり、いろいろ心がけることがあり大変だと思いました。
- ・いつも聞いていることでしたが、改めて井上さんのやっていることはすごいと思った。

3 ピアサポーター活動への気持ちについて

○今後、県主催の親御さん向け事業へ参加し、支援活動をしてみたいと思うか。



そう思う 6

理由

- ・自分の子供が病気になった意味（自分が役に立てる場）を求めていたので、興味はあるが、正直とても難しい。責任が重いです。
- ・こういった支援を望んでいる人は沢山いると思います。子ども中心の生活となり、誰かと話をするということでさえ困難な人もいますので力になりたいです。

ややそう思う 9

- 理由：
- ・具体的にどのような活動が想定されているのか理解していないため
 - ・向き不向きはあるだろうが、時間をとれるかもしれないと思ったから
 - ・自分のスケジュールとサポートできる事があるかにまだ少し不安がある。
 - ・時間的な問題が…。
 - ・お手伝いはしたいが、仕事もあるので
 - ・自身も入院中気軽に相談できる場があればと強く感じていたので、力になればと思うが、自分にできるか不安も大きい。

思わない 0

○今後、ピアサポーターとして支援活動をするうえで、学びたいことをお聞かせください。

- ・Tel、相談の実例も(何例か)文書として参考に見せて欲しい。
- ・実際にどう行動すべきか悩みます。
- ・話を聞く側の心構え
- ・沢山すぎて…、とても難しいなと思います。

4 研修会全体を通しての感想、県で実施してほしい事業等意見

- ・お子さんを亡くした親の集まれる場を作ってあげて欲しい。月日が経つにつれ、孤独感を抱えている気がします。
- ・もっといろいろな人に小児がんを知ってほしい。
- ・こういう活動をしているという講演会等あるといいなと思いました。また、教育者(教師達に)知ってほしいなと思いました。
- ・入院中に院内でお医者さん、患者さん親、みんながコミュニケーションをとれる時がないと感じました。お話を聞いてあげられる人がいつもいると心強いと思います。

平成28年度千葉県小児がんピアサポーター養成研修会 実施後アンケート結果

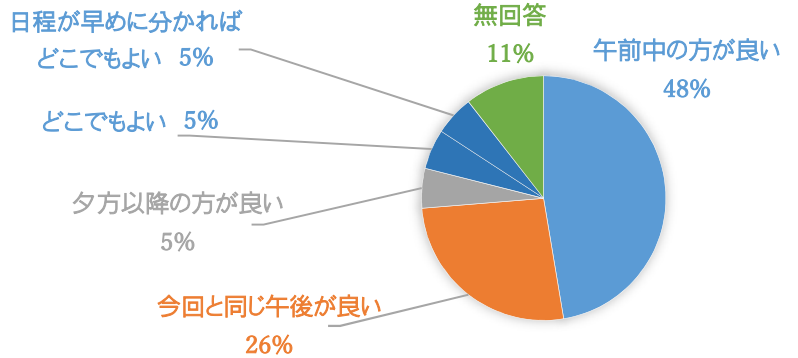
【2日目】 H29.3.23(13:30~16:30)開催

出席者 14名(母14名) アンケート回収数14(回収率100%)

1 研修会の開催日程について(前回欠席者分のみ追加し集計)

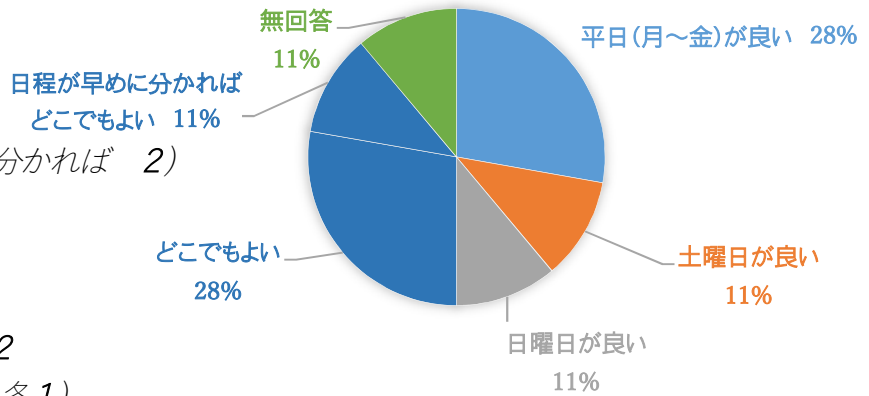
○時間帯(複数回答あり)

午前中の方が良い 9
 今回と同じ午後が良い 5
 夕方以降の方が良い 1
 どこでもよい 2
 (うち日程が早めに分かれば 1)
 無回答 2



○曜日(複数回答あり)

平日(月~金)が良い 5
 土曜日が良い 2
 日曜日が良い 2
 どこでもよい 7
 (うち日程が早めに分かれば 2)
 無回答 2



○時期

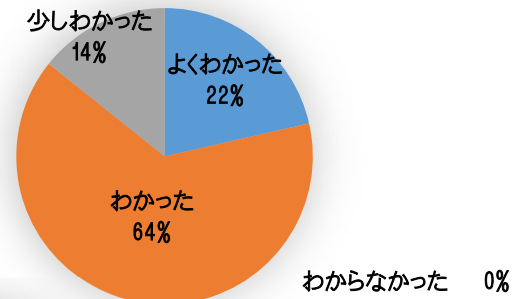
()月頃が良い 2
 (春か秋・6月以降 各1)
 いつでもよい 11
 (うち日程が早めに分かれば 1)
 無回答 3

2 1日目の研修内容について

研修①「活動するために知っておきたい医学的知識」について

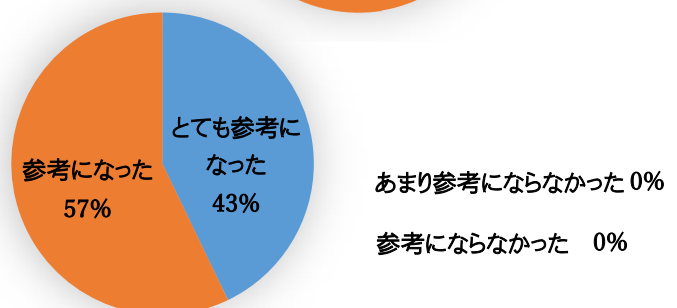
○内容理解

よくわかった 3
 わかった 9
 少しわかった 2
 わからなかった 0



○今後の参考になったか

とても参考になった 6
 参考になった 8
 あまり参考にならなかった 0
 参考にならなかった 0



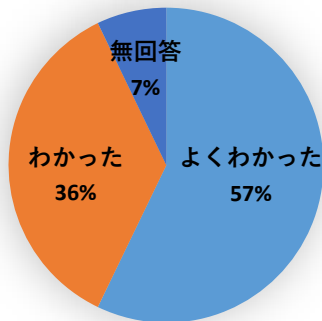
○感想

- ・別の機会でも伺っている内容でもありましたので知識の再確認で聞かせて頂きました。
- ・もっと詳しく勉強しなければと思いました。
- ・前半の薬の話は難しかったですが、後半は具体的な話も多く理解できました。
- ・改めて晩期合併症についてももう少し自分で知識をつけておかななくてはならないと思いました。
- ・病名等聞いたことのあるものは多数あったのですが、薬等、まだ知らないことの方が多かったです。
- ・とても難しい内容もあったが、自分の子ども以外の知識が少しいた。
- ・医療用語、薬剤の名称と特性の一覧 etc 必要と思う。
- ・過去の治療の話や小児がん全体の話が聞けて良かった。

研修② 「ピアサポーターとして医学的知識必要な理由とその使い方」について

○内容理解

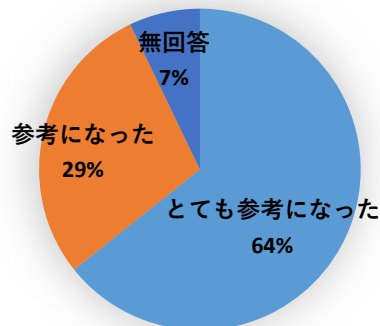
よくわかった 8
わかった 5
少しわかった 0
わからなかった 0
無回答 1



少しわかった 0%
わからなかった 0%

○今後の参考になったか

とても参考になった 9
参考になった 4
あまり参考にならなかった 0
参考にならなかった 0
無回答 1



あまり参考にならなかった 0%
参考にならなかった 0%

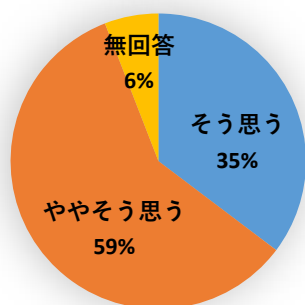
○感想

- ・医学的知識の勉強法を教えてください。
- ・相手と話をすることで、理解していないと相づちできないことがあるということもわかりました。ますます勉強しなくてはと思いました。
- ・小児がんでも様々な種類、症状がある。もっと勉強したい。
- ・とても勉強になった。
- ・具体的なお話があり、分かりやすかった。
- ・フリートークでの沖本先生と井上さんの議論はお聞きしていて自分自身で考えるきっかけとなりとても良かったです。

3 ピアサポーター活動への気持ちについて(前回欠席者分のみ追加)

○今後、県主催の親御さん向け事業へ参加し、支援活動をしてみたいと思うか。

※理由については、今回、記載のあったものすべてを掲載。



そう思う 6

理由

- ・これまで助けて頂く側でしたが、逆に自分の経験がどなたかのお役に立てれば幸いです。
- ・自分自身もサポートを受け、とても助けられたので
- ・同じ境遇の方の力になりたいと思いました。

ややそう思う 10

理由：・自分の入院中助けていただいたから、自分には相談する相手がいませんでした。

- ・20年以上前は、相談するところもなく困った。
- ・自分が何か人の役に立つ事があれば。
- ・現在ミルフィーユで茶話会を開いて活動している。
- ・自分の経験を活かせればと思う一方、まだ時間的余裕もなかなかないので、いずれと思うので、1日目も参加できなかったのもっと知識をつけてから是非。

思わない 0

無回答 1

○今後、ピアサポーターとして支援活動をするうえで、学びたいことをお聞かせください。

- ・医学、薬のことをもっと詳しく知りたいです。

4 研修会全体を通しての感想、県で実施してほしい事業等意見

- ・サポーターとして活動するのであれば、より専門的訓練が必要なのではないかと感じています。個人の資質やお人柄により支援の質がバラバラなのでは問題だと思いました。
- ・まずは参加した方々との親睦を深めてみたかった。その為の時間を設けてもらえると良かった。小児がんのタイプや今現在の生活など情報交換がしたかった。
- ・とても良い機会でした。
- ・現在活動をしているNPO等の団体に、県としてもっと支援してほしい。そうしないとサポーターになってくれる人材も育たない。
- ・子供達が学校で生活しやすい環境を整えてほしい。(先生方の病気に対する理解)
- ・実際に活動しているボランティア団体を支援してほしい。ex 事務所の設置ができず、困っている。
- ・こういった研修会や経験者の集まる会を今後も開催して頂きたい。